

## 春かぼちゃの作業について

### 【ほ場準備】

○ハウス，小型ハウス，9尺トンネル

定植の20日前までにマルチング，ビニール被覆し（土壤水分を確保しておく），地温（定植時に15℃）を確保する。※定植時の地温が低いと活着に影響する。

### 【定植後の管理】

1. 定植・・・・・・・・定植苗は本葉4枚摘芯苗とし，極端な深植をしない。晴天無風の午前中に定植する。
2. 温度管理・・・・・・・・活着までは日中30℃，夜温12℃を目標に管理する。  
活着後，日中28～30℃，夜温10℃を目標に管理する。
3. 換気・・・・・・・・開閉は定植位置の反対側で行う。（直接外気が当たらないように）
4. 整枝・・・・・・・・子づるが10～15cmくらい伸びてから揃った子づるを2本残す。  
着果節位まで孫づるの摘除は早めに行う。  
つる先を揃え，枝間隔が均等になるように誘引する
5. 追肥・・・・・・・・草勢を見ながら開花前，マルチの両側と着果節位付近に行う。
6. 交配・・・・・・・・子づるの15節位以上で行い，花粉は雌花の柱頭にまんべんなくつける。交配は午前中に行う。開花期の夜温は最低15℃を確保する。
7. 着果標示・・・・・・・・収穫目安のために着果標示を行う。
8. かん水・・・・・・・・着果後5～7日おきに10a当たり5～7t程度のかん水を行う。  
果実肥大の約8割は着果後約20日間で決まってしまうので，この期間に水分が少ないと果実の肥大が悪い。
9. 摘果・・・・・・・・着果後5～7日以内に摘果を行い，変形果は早めに摘果する。
10. シート敷き・・・・・・・・果皮の緑が強くなり始めた頃に敷く。節根を引き抜かないように注意する。
11. 病虫害防除・・・・・・・・発生状況等を見ながら防除を行うが，予防に努める。  
また，降雨の多い時期には排水対策を行う。